

イエス・キリストの系図から始まる
マタイの福音書

マタイ 1 : 1 - 17

聖書クイズ 1

- ▣ イエス・キリストの系図が書かれている福音書は、次のどれとどれでしょうか？

- ▣ 1. マタイによる福音書
- ▣ 2. マルコによる福音書
- ▣ 3. ルカによる福音書
- ▣ 4. ヨハネによる福音書

聖書クイズ

- ▣ イエス・キリストの系図が書かれている福音書は、次のどれとどれでしょうか？

- ▣ 1. **マタイによる福音書**
- ▣ 2. マルコによる福音書
- ▣ 3. **ルカによる福音書**
- ▣ 4. ヨハネによる福音書

聖書クイズ 2

- ▣ アダムまでさかのぼる系図が書かれているのは、このうちのどちらでしょうか？

- ▣ 1. マタイによる福音書
- ▣ 2. ルカによる福音書

聖書クイズ 2

- ▣ アダムまでさかのぼる系図が書かれているのは、そのうちのどちらでしょうか？
 - ▣ 1. マタイによる福音書
 - ▣ 2. ルカによる福音書

系図から始まるマタイの福音書

- ▣ 系図を大切にす、ユダヤ人向けに書かれている。
- ▣ 旧約聖書が前編で、新約聖書は後編。ひとつのロング・ストーリーを後編から読もうとしている。
- ▣ 系図の最初の人物、アブラハムは、信仰の父（神のしもべ、神の友）。神の名は、「アブラハム、イサク、ヤコブの神」。
- ▣ ユダ族から、メシヤは生まれる。

ミカ書5:2

- ▣ しかしベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。その出るのは昔から、いにしえの日からである。

聖書クイズ 3

- ▣ 女性の名が出てくるのは、どちらの福音書で
しょうか？
- ▣ 1. マタイによる福音書
- ▣ 2. ルカによる福音書

聖書クイズ 3

- ▣ 女性の名が出てくるのは、どちらの福音書でほしょうか？
- ▣ 1. マタイによる福音書
- ▣ 2. ルカによる福音書

系図から始まるマタイの福音書

- ▣ ユダヤ人の系図は、本来、男性しか載っていない。

創世記5:3

- ▣ アダムは百三十歳になって、自分にかたどり、自分のかたちのような男の子を生み、その名をセツと名づけた。

ルカ3:23-38

- ヨセフはヘリの子、それから、さかのぼって、マタテ、レビ、メルキ、ヤンナイ、ヨセフ、マタテヤ、アモス、ナホム、エスリ、ナンガイ、マハテ、マタテヤ、シメイ、ヨセク、ヨダ、ヨハナン、レサ、ゾロバベル、サラテル、ネリ、メルキ、アデイ、コサム、エルマダム、エル、ヨシュア、エリエゼル、ヨリム、マタテ、レビ、シメオン、ユダ、ヨセフ、ヨナム、エリヤキム、メレヤ、メナ、マタタ、ナタン、ダビデ、エッサイ、オベデ、ボアズ、サラ、ナアソン、アミナダブ、アデミン、アルニ、エスロン、パレス、ユダ、ヤコブ、イサク、アブラハム、テラ、ナホル、セルグ、レウ、ペレグ、エベル、サラ、カイナン、アルパクサデ、セム、ノア、ラメク、メトセラ、エノク、ヤレデ、マハラレル、カイナン、エノス、セツ、アダム、そして神にいたる。

系図から始まるマタイの福音書

- ▣ ユダヤ人の系図は、本来、男性しか載っていない。
- ▣ しかし、マタイの福音書の系図には、なぜか5人の女性の名が。。。

マタイ 1：1－17

アブラハムの子であるダビデの子、イエス・キリストの系図。

マタイ1:2-6

- ▣ アブラハムはイサクの父であり、イサクはヤコブの父、ヤコブはユダとその兄弟たちとの父、
- ▣ ユダはタマルによるパレスとザラとの父、パレスはエスロンの父、エスロンはアラムの父、
- ▣ アラムはアミナダブの父、アミナダブはナアソンの父、ナアソンはサルモンの父、
- ▣ サルモンはラハブによるボアズの父、ボアズはルツによるオベデの父、オベデはエッサイの父、
- ▣ エッサイはダビデ王の父であった。

マタイ1:6-11

- ▣ ダビデはウリヤの妻によるソロモンの父であり、
- ▣ ソロモンはレハベアムの父、レハベアムはアビヤの父、アビヤはアサの父、
- ▣ アサはヨサパテの父、ヨサパテはヨラムの父、ヨラムはウジヤの父、
- ▣ ウジヤはヨタムの父、ヨタムはアハズの父、アハズはヒゼキヤの父、
- ▣ ヒゼキヤはマナセの父、マナセはアモンの父、アモンはヨシヤの父、
- ▣ ヨシヤはバビロンへ移されたころ、エコニヤとその兄弟たちとの父となった。

マタイ1:12-16

- ▣ バビロンへ移されたのち、エコニヤはサラテルの父となった。サラテルはゾロバベルの父、
- ▣ ゾロバベルはアビウデの父、アビウデはエリヤキムの父、エリヤキムはアゾルの父、
- ▣ アゾルはサドクの父、サドクはアキムの父、アキムはエリウデの父、
- ▣ エリウデはエレアザルの父、エレアザルはマタンの父、マタンはヤコブの父、
- ▣ ヤコブはマリヤの夫ヨセフの父であった。このマリヤからキリストといわれるイエスがお生れになった。

マタイ1:17

- ▣ だから、
- ▣ アブラハムからダビデまでの代は合わせて十四代、
- ▣ ダビデからバビロンへ移されるまでは十四代、
- ▣ そして、
- ▣ バビロンへ移されてからキリストまでは十四代である。

タマル

(創世記38:6-30)

- ▣ ユダの長子、エルの妻だった。
- ▣ エルの死により、律法に従い、その弟オナンの妻となる。
- ▣ オナンの死により、その弟、シラが成人するまで、他に嫁がずに待つ。
- ▣ しかし、義父ユダは、タマルとの約束を守らなかった。
- ▣ このため、タマルは、遊女を装い、義父と関係を持つ。
- ▣ その結果、産まれた子が、パレス。

申命記25:5—6

- ▣ 兄弟が一緒に住んでいて、そのうちのひとりが死んで子のない時は、その死んだ者の妻は出て、他人にとついでにはならない。その夫の兄弟が彼女の所にはいり、めとって妻とし、夫の兄弟としての道を彼女につくさなければならない。
- ▣ そしてその女が初めに産む男の子に、死んだ兄弟の名を継がせ、その名をイスラエルのうちに絶やさないようにしなければならない。

創世記38:24—26a

- ところが三月ほどたって、ひとりの人がユダに言った、「あなたの嫁タマルは姦淫しました。そのうえ、彼女は姦淫によってみごもりました」。ユダは言った、「彼女を引き出して焼いてしまえ」。

彼女は引き出された時、そのしゅうとに人をつかわして言った、「わたしはこれをもっている人によって、みごもりました」。彼女はまた言った、「どうか、この印と、紐と、つえとはだれのものか、見定めてください」。

- ユダはこれを見定めて言った、「彼女はわたしよりも正しい。わたしが彼女をわが子シラに与えなかったためである」。

ルツ

(ルツ記1:1-4:22)

- モアブ人
- モアブに移住して来た、ユダヤ人の夫と結婚するが、夫の死去により、義母ナオミとユダの地、ベツレヘムへと移住する。
- 親戚の義務のある、ボアズの畑へ、凶らずも落穂拾いに行く。
- 義母ナオミの助言に従い、ボアズの寝床へ赴き、親戚の義務を果たすよう求める。

ルツ記 3 : 9

- ▣ 「あなたはだれですか」と言うと、彼女は答えた、「わたしはあなたのはしためルツです。あなたのすそで、はしためをおおってください。あなたは最も近い親戚です」

ルツ

(ルツ記1:1-4:22)

- ▣ 親戚ボアズは、正当な手順を踏んで、ルツをめとる。
- ▣ その子が、オベデ。

申命記25:5—6

- ▣ 兄弟が一緒に住んでいて、そのうちのひとりが死んで子のない時は、その死んだ者の妻は出て、他人にとついでにはならない。その夫の兄弟が彼女の所にはいり、めとって妻とし、夫の兄弟としての道を彼女につくさなければならない。
- ▣ そしてその女が初めに産む男の子に、死んだ兄弟の名を継がせ、その名をイスラエルのうちに絶やさないようにしなければならない。

申命記25:7-9

- しかしその人が兄弟の妻をめとるのを好まないならば、その兄弟の妻は町の門へ行って、長老たちに言わなければならない、『わたしの夫の兄弟はその兄弟の名をイスラエルのうちに残すのを拒んで、夫の兄弟としての道をつくすことを好みません』。

そのとき町の長老たちは彼を呼び寄せて、さとさなければならぬ。もし彼が固執して、『わたしは彼女をめとることを好みません』と言うならば、

- その兄弟の妻は長老たちの目の前で、彼のそばに行き、その足のくつを脱がせ、その顔につばきして、答えて言わなければならない。『兄弟の家をたてない者には、このようにすべきです』。

ルツ記4:7-10

- むかしイスラエルでは、物をあがなう事と、権利の譲渡について、万事を決定する時のならわしはこうであった。すなわち、その人は、自分のくつを脱いで、相手の人に渡した。これがイスラエルでの証明の方法であった。
- そこで親戚の人がボアズにむかい「あなたが自分ではないなさい」と言って、そのくつを脱いだので、
- ボアズは長老たちとすべての民に言った、「あなたがたは、きょう、わたしがエリメレクのすべての物およびキリオンとマロンのすべての物をナオミの手から買いとった事の証人です。
- またわたしはマロンの妻であったモアブの女ルツをも買って、わたしの妻としました。これはあの死んだ者の名を起してその嗣業を伝え、死んだ者の名がその一族から、またその郷里の門から断絶しないようにするためです。きょうあなたがたは、その証人です」。

ウリヤの妻

(第二サムエル11:1-12:24)

- ▣ バテシェバ
- ▣ ダビデの家来、兵士ウリヤの妻だった。
- ▣ ダビデと関係を持ち、妊娠。
- ▣ ダビデはウリヤを戦いの最前線に送り、戦死させる。
- ▣ 預言者ナタンにより、ダビデの罪が糾弾される。
- ▣ その子は、病死。
- ▣ ダビデとの間に、産まれたその次の子が、ソロモン。

第二サムエル12:9-10

- ▣ どうしてあなたは主の言葉を軽んじ、その目の前に悪事をおこなったのですか。あなたはつるぎをもってヘテびとウリヤを殺し、その妻をとって自分の妻とした。すなわちアンモンの人々のつるぎをもって彼を殺した。
- ▣ あなたがわたしを軽んじてヘテびとウリヤの妻をとり、自分の妻としたので、つるぎはいつまでもあなたの家を離れないであろう』。

マリヤ

(マタイによる福音書1:18-23)

- ▣ 聖霊により、イエス・キリストを受胎。
- ▣ いいなずけの夫、ヨセフと一緒にいない時に、妊娠が分かる（処女受胎）。
- ▣ しかし、律法では、このような場合。。。。

マタイによる福音書1:18-21

- イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。
- 夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。

彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

- 彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。

マリヤ

(マタイによる福音書1:18-23)

- ▣ 聖霊により、イエス・キリストを受胎。
- ▣ いいなずけの夫、ヨセフと一緒ににならない時に、妊娠が分かる（処女受胎）。
- ▣ その名は「インマヌエル（主、我と共にいます）」と呼ばれる。

マタイによる福音書1:22-23

- ▣ すべてのこれらのことが起ったのは、主が預言者によって言われたことの成就するためである。すなわち、
- ▣ 「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。

マリヤ

(マタイによる福音書1:18-23)

- ▣ 聖霊により、イエス・キリストを受胎。
- ▣ いいなずけの夫、ヨセフと一緒ににならない時に、妊娠が分かる（処女受胎）。
- ▣ その名は「インマヌエル（主、我と共にいます）」と呼ばれる。
- ▣ イエスとは、「主は救い」の意。
- ▣ なぜなら。。。

マタイによる福音書1:18-21

- イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。
- 夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。

彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

- 彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。

この5人の女性に共通していること

- ▣ 社会の中心から遠いところ（隅の方）にいた
- ▣ その背景に、スキャンダルの影・うわさがあった。
- ▣ 宗教的・道徳的に、尊ばれない立場に立たされた。
- ▣ ・**タマル**は、遊女となり義父と関係を持つ。
- ▣ ・**ラハブ**は、売春宿の女主人だった。
- ▣ ・**ルツ**は異邦人、元他宗教の人。
- ▣ ・**バテシェバ**は、姦淫。
- ▣ ・**マリア**は、ヨセフに離縁されそうになる。
- ▣ しかし、彼女たちは。。

タマル

(創世記38:24—26a)

- ところが三月ほどたって、ひとりの人がユダに言った、「あなたの嫁タマルは姦淫しました。そのうえ、彼女は姦淫によってみごもりました」。ユダは言った、「彼女を引き出して焼いてしまえ」。

彼女は引き出された時、そのしゅうとに人をつかわして言った、「わたしはこれをもっている人によって、みごもりました」。彼女はまた言った、「どうか、この印と、紐と、つえとはだれのものか、見定めてください」。

- ユダはこれを見定めて言った、「彼女はわたしよりも正しい。わたしが彼女をわが子シラに与えなかったためである」。

ウリヤの妻（バテシエバ） （第二サムエル12:9－10）

- ▣ 姦淫は姦淫。でも、相手はダビデ王だった。
- ▣ =ダビデに対する預言者ナタンの言葉=
- ▣ どうしてあなたは主の言葉を軽んじ、その目の前に悪事をおこなったのですか。あなたはつるぎをもってヘテびとウリヤを殺し、その妻をとって自分の妻とした。すなわちアンモンの人々のつるぎをもって彼を殺した。
- ▣ 『あなたがわたしを軽んじてヘテびとウリヤの妻をとり、自分の妻としたので、つるぎはいつまでもあなたの家を離れないであろう』。

ルツ

(ルツ記1:16)

- ▣ しかしルツは言った、「あなたを捨て、あなたを離れて帰ることをわたしに勧めないでください。わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。

マリア

(マタイによる福音書1:19-20)

- ▣ 夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようとした。
- ▣ 彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

系図の中の主要人物と出来事とは？

- ▣ アダム
- ▣ ダビデ
- ▣ バビロン捕囚

系図の中の主要人物と出来事とは？

- ▣ アブラハム→信仰の父（神のしもべ、神の友）。神の名は、「アブラハム、イサク、ヤコブの神」。
- ▣ ダビデ→神様の思いにかなう人、でもバテシエバ事件で、「家に剣の耐えない」状態となる。
- ▣ バビロン捕囚→イスラエルの民の、神様に対する不従順の結果、起きたこと。

第一コリント15:22

- ▣ アダムにあってすべての人が死んでいるのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるのである。

詩篇51:7

- ▣ 見よ、あなたは真実を心のうちに求められます。それゆえ、わたしの隠れた心に知恵を教えてください。
- ▣ ヒソプをもって、わたしを清めてください、わたしは清くなるでしょう。わたしを洗ってください、わたしは雪よりも白くなるでしょう。

エレミヤ29:10-14a

- ▣ 主はこう言われる、バビロンで七十年が満ちるならば、わたしはあなたがたを顧み、わたしの約束を果し、あなたがたをこの所に導き帰る。
- ▣ 主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。
- ▣ その時、あなたがたはわたしに呼ばわり、来て、わたしに祈る。わたしはあなたがたの祈を聞く。
- ▣ あなたがたはわたしを尋ね求めて、わたしに会う。もしあなたがたが一心にわたしを尋ね求めるならば、
- ▣ わたしはあなたがたに会うと主は言われる。

マタイ1:17

- ▣ だから、
- ▣ アブラハムからダビデまでの代は合わせて十四代、
- ▣ ダビデからバビロンへ移されるまでは十四代、
- ▣ そして、
- ▣ バビロンへ移されてからキリストまでは十四代である。

マタイによる福音書1:18-21

- イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。
- 夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。

彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

- 彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。